

通学時の無事を願って



須津地区まちづくり協議会 広報

令和4年 3 / 20

No.15

江尾2丁目 妙見堂前

江尾2丁目の小学校低学年の生徒は、7時15分妙見堂前に集合し、集団登校をしています。

「この場所に時計があれば時刻を共有できる。余裕を持って出発させたい。」と保護者から要望がありました。子供が無事に通学してほしいとの願いからです。そこで、江尾区及び妙見堂の氏子総代と話し合い、大型で見やすい電波ソーラー時計を設置しました。今では小学生のみならず、妙見堂前を通行する時、時刻の確認が出来るので、良かったと思っています。

江尾区長 増田直人

撮影 後藤秀幸さん（江尾2）

編集・発行

一般社団法人 須津地区まちづくり協議会

事務局：須津まちづくりセンター

TEL：34-2134

題字・絵＝鷺坂 隆司さん（神谷2）

須津川「向田橋」上空あたりから「春爛漫」

大切なお知らせです

新しいまちづくり 住みよいまち 住み続けたいまち 須津 須津まちづくりセンター「指定管理者制度」



4月1日スタートです

協議会は、須津まちづくりセンターの指定管理者制度導入に向けて、臨時総会を開催し、賛成多数で法人化を決議し、令和3年8月静岡地方法務局に「一般社団法人 須津地区まちづくり協議会」として法人登記を行いました。

富士市の指定管理者評価委員会でのプレゼンテーションを経て、令和3年11月の富士市議会で承認され、4月1日より指定管理者としてスタートします。



Q. これからのまちづくりセンターはどうなりますか？

A. 指定管理者の一般社団法人 須津地区まちづくり協議会に管理運営が移行します。貸館業務、サービスコーナー（住民票等の交付）は、従来通りです。窓口対応等は、協議会で雇用する職員が行います。



みんなでつくる須津のまち
まちづくり協議会 会長 中端秀敏

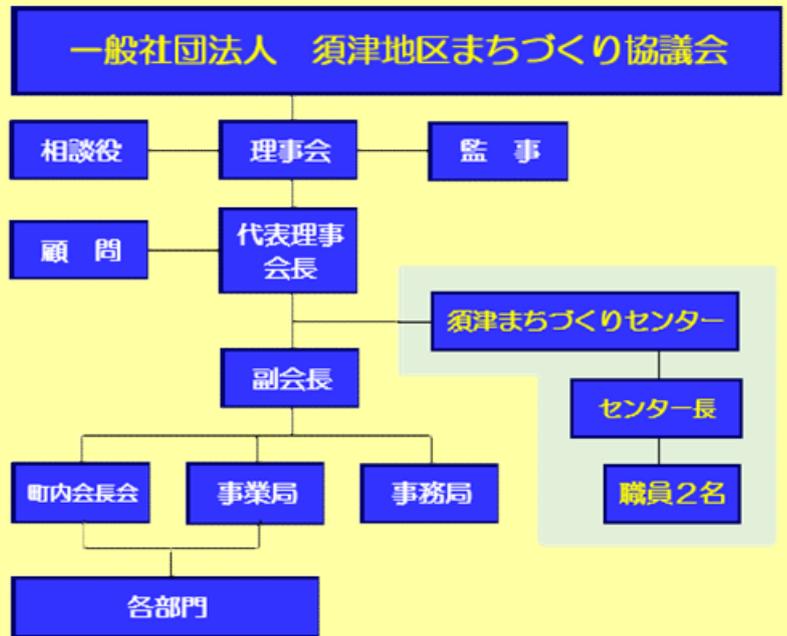


過日実施したアンケートへの協力、誠にありがとうございました。

多くの質問に答えてくださったと言うことは、須津のまちづくりに皆様一人一人が参加したと言うことでもあります。新しいまちづくりへの貴重な一歩となることでしょう。

今後も、須津地区まちづくり協議会は、皆様の意見をもとに、地域の課題を解決すべく事業運営を行なって参ります。

令和4年度 組織図暫定版



令和4年度
センター職員の紹介

ルールを守り
利用しやすい
センターを目指します

センター長
伊藤仁教さん



職員
小林秀子さん



職員
吉中智子さん



※ 詳細については新年度役員・組織図が決定次第、改めてお知らせ致します。



12/5 (日) 須津福祉健康セミナー2021

須津地区まちづくり協議会の福祉健康部門では、部門に所属する団体で協力し、「須津福祉健康セミナー」を開催しました。



「トトロの会」が雰囲気作り

今回のテーマは「認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して。」包括支援センター職員による講話と映画鑑賞が主な内容でした。昼の部48人、夜の部36人と多くの参加があり、認知症について学ぶ貴重な時間となりました。

映画

「ケアニン ～あなたでよかった～」の感想



認知症とわかっていても、本人よりも家族の方が受け入れられずに、つい怒ったり、叱ったりしてしまいがちです。映画を観て、本人の思いを否定せずに

声掛けの仕方を工夫すること、穏やかに生活が改善されていくのだと改めて感じました。「孝行したい時に親はなし」の言葉が心にしみました。(70代女性)



映画鑑賞の様子

1/23 (日) 第3回 須津古墳ロードスタンプラリー

この日だけは石室の中を覗くことができました



ふるさと愛好会のメンバーがガイド役



千人塚古墳 神谷

4グループに分かれて出発!



須津まちづくりセンター

グループリーダーは協議会の役員さん

真剣に話を聴く参加者の皆さん



琴平古墳 中里

参加賞の古墳クッキーを片手にポーズ



天神塚古墳 中里

GOAL

各古墳で説明してくださっていた年配の方々とそれを聞く小学生の関係、すごくいいですね。この関係はずっと続けてもらいたいなと思いました。

文化は隔世代で伝わるということが表現されているように見えてすごく考えさせられました。(40代男性)

古墳スタンプラリーで、古墳について知って、考えを深めることができました。千んづか古墳の中をもう一回じっくり見ることができました。スタンプラリーと古墳めぐりが合体していて、たのしかったです。(6年生)

(原文ママ)

よく準備できていて古墳のことがわかりました。(70代女性)

幼稚園児から80代の高齢者まで、ウォーキングを兼ねながらスタンプラリーを楽しみました。



おらっち自慢 ⑭ 増川

増川・私の好きな散歩道



斉藤みつ代

私の家から増川八幡神社までは、根方街道を境にずっと急な坂道です。途中に自主防災の指定避難所となっている妙蓮寺さんの駐車場があります。そこで、初めて見る花があったので調べてみました。その花は（ダイヤモンドリリー）日本名（ねりね）。彼岸花の様な花ですが、赤紫の神秘的な花でした。



浅間神社も私の好きな散歩コースにあります。まだまだ幼木のホウバが浅間古墳の西にあります。見上げると、青空に隙間を作り、ホウバの葉が揺れます。春にはうらしま草、白い小花の吉祥草（写真）を発見。この花を見つけると幸福が訪れるというので、浮き浮き自然に顔がほころびます。

浅間神社は古墳の上に祀られていて、最近古墳としての調査が続き注目を浴びていますが、この場所は、私にとって、密かに息づく花々に出会う場所でもあります。

これからも、増川の自然との出会いを求めて（動）の人でありたいです。

♡ ママーズボイス ♡ 6 ♡♡♡

須津の写真映えスポット

小松美晴（八幡）

先日auのCMに大瀬の滝が使われて話題になりました。慣れ親しんだ場所がCMに使われ、とても嬉しかったです。桃太郎電鉄のパネルが設置される等、この辺りは全国的にも有名な富士山の名所でもあります。あぜ道で風揚げをしながらかめた富士山は本当に美しかったです。

4月に息子が小学校に入学するので、記念に写真を撮るのが楽しみです。以前撮った写真を眺めながら、須津川の向田橋は桜が低くて桜と一緒に撮れて良かったな。江尾公園や浮島緑地公園、根方線の赤淵川の橋で富士山とも撮ろう。他にはどこがいいかな。などと考えて、須津には意外と写真映えスポットがたくさんあるなあ、と思いました。春らしい記念写真をたくさん撮りたいです。



須津のれきし探訪

（シリーズ第15回）

須津と江戸 I 須津地区の『殿さま』③ 中里村の殿さま① 曾我氏①

杉本 寛郎（社会教育課 職員）

寛永一〇年（一六三三）以降、幕府領となっていた中里村は、元禄一年（一六九八）に旗本・曾我氏が殿さまとなりました。この曾我氏はあの仇討ちで有名な「曾我兄弟」と同じ流れで、鎌倉幕府の御家人からはじまり、足利將軍家にも仕えた名族です。江戸時代にはいくつかの分家に分かれ、そのうち徳川綱吉に仕えた曾我助興（すけおき）が綱吉の五代將軍就任以降出世し、中里村を含む六千五〇〇石の旗本となりました。

助興は、綱吉が館林藩主のころから仕え、家老職を勤めました。綱吉からの信任はとても厚く、綱吉の子・徳松の世話係・教育係も勤め、江戸城西丸（將軍世子（せいし）の居城）へも付き従いました。その後、新番頭（將軍外出時の先駆けを勤める部隊の責任者）・側衆（將軍側近の責任者）などの要職を勤め、九〇歳で亡くなりました。お墓は浅草の海禅寺にあります。

女子駅伝清掃

12月12日（日）

富士山女子駅伝に向けて、選手の皆さんに安全に走っていただくために、清掃を行いました。



めがね池前

編集後記

11月中里1丁目の半田博信さんが、須津小の4年生に、天狗のお面や一本歯下駄を見せながら、天王祭についてお話して下さった。人と人をつなぐ大切なお祭りだから、無くしてはならないという感想を子供たちがもったと知り、さて、大人は今後地域のお祭りをどうしていくのかと考えさせられた。（I. H）

♪右のQRコードを読み込むと、富士市のホームページで、須マイルの電子版を見ることができます。

